

## まちの話題



中津江

## Nakatsue



## 火災に備える！

1月29日、中津江振興局で消防団中津江方面団が可搬ポンプの整備講習会を行った。今回は、可搬ポンプにトラブルが発生したことを想定して実施。感染症対策のため参加できる団員数には限りがあったものの、どの団員もいつ発生するか分からない火災に備え、日頃からメンテナンスを行う大切さを改めて認識し、真剣な表情で受講していた。



## 会えないときもつながりを

1月24日、集落支援員が毎月開催している「野菜市」で地域行事等を紹介するパネル展示が行われた。パネルには支援員が活動を通して撮りためた写真が多数貼られ、買い物に訪れた住民が足を止めて見入っていた。寒さが厳しい冬季にコロナ禍も重なり、外出する機会の少ない昨今、パネル展示は他の地区の様子を互いに知る心温まる催しとなった。



前津江

## Maetsue



## 炎に願う 無病息災

1月8日、前津江の地域団体「夢あかいし」主催の鬼火焚きが旧赤石小学校跡地で行われ、住民約40人が立ち昇る炎を見上げた。

これは、毎年実施してきた催しで、例年持参した餅を焼き、ぜんざいにして振る舞うなどの盛り上がりがあったが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた。今年も直前まで話し合いを行った結果、感染拡大防止のため規模を縮小し短時間で開催した。

午後6時30分から竹で組んだやぐらに点火。参加者は持参した正月飾りなどを燃やした。竹の弾ける音が響く中、今年1年の無病息災、家内安全と新型コロナウイルス感染症の早期終息を祈った。

大山

## Oyama



## 燃え上がる炎に願いを込めて

1月8日、中川原の榎瀬河川広場で中川原青壮年会による「鬼火焚き」が行われた。この行事は一年の無病息災を願って毎年行われている。午後6時、今年の年男と年女が竹で組まれた大きなやぐらに点火した。竹が弾ける音が響く中、地区の住民たちは古いお札や正月飾りなどを燃やして今年1年を健康で安全に過ごせるよう祈願した。



## 大山町に珍しいお客さま

1月6日、大山町では初めてとなる国の天然記念物のニホンヤマネが確認された。体長は約6cmの子供で、町内の個人宅の座敷の壁に張り付いていたところを発見。夜行性で、しかも冬眠時は半年ほど眠り続けるため、なかなか見ることができない貴重な動物である。発見者は体を丸めて眠るニホンヤマネの愛くるしい姿に目を細めていた。



## 寒さに負けぬ高齢者

1月20日、前津江町に住むグラウンドゴルフ愛好家9人が、前津江シルバーすこやか広場で寒風の中グラウンドゴルフを楽しんだ。毎週木・日曜日に集合し腕を磨いている。参加者はみんなで集まり運動することでコミュニケーションができ、自身の健康維持につながっている。今日も「みんなで集まってワイワイできるのが楽しい」と笑顔で話していた。



## わらじづくりを後世に

12月2日と16日、前津江公民館で、長年大野楽に使用するわらじを作ってきた地元の三苫正輝さんを講師に「わらじづくり」の講習会が行われた。今回は大野楽保存会を中心に10人が挑戦。藁をなうところから教わり、片足が出来上がると感嘆の声が上がった。参加者はわらじづくりの技術をしっかり継承し、後世につなげていきたいと意気込んでいた。